



自然共生サイトに係る支援証明書

グリーンフロント研究所 株式会社 様

支援サイト情報

サイト名称： 鳥川ホタルの里
サイト所在地： 愛知県岡崎市
サイト責任者： 愛知県岡崎市

☒ 維持タイプ ☐ 回復タイプ ☐ 創出タイプ

支援内容に係る情報

支援数： 1つ

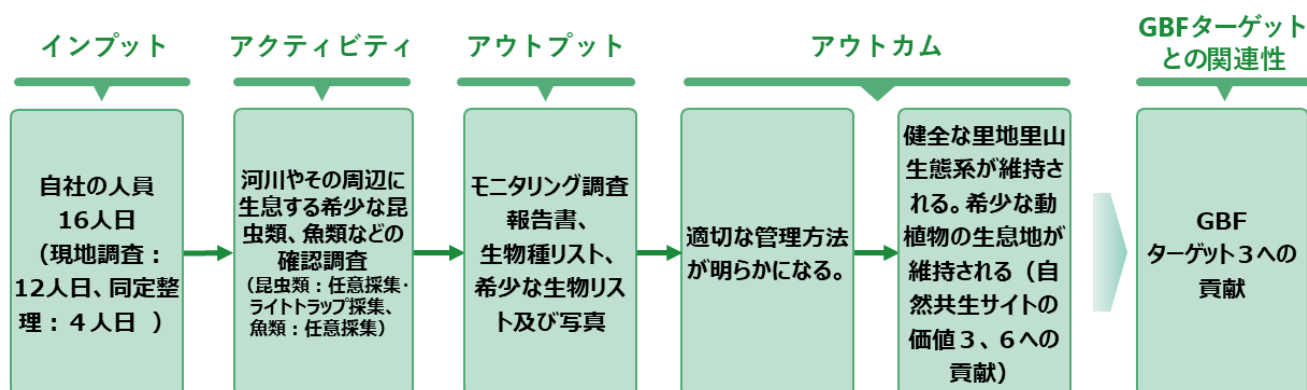
※複数支援の場合、2枚目以降に記載

支援に係る活動内容 河川やその周辺に生息する希少な昆虫、魚類：生育・生息場所を中心とした生息実態調査

インプット 人員 16人日（現地調査：12人日 + 同定整理：4人日）

アクティビティ 河川やその周辺に生息する希少な昆虫類、魚類などの確認調査
（昆虫類：任意採集・ライトトラップ採集、魚類：任意採集）

支援実施日（支援期間） 現地調査 2023/8/23
同定整理 2023年8月～9月の中の4日間



※記載のとおりアウトカムが出ることを保証するものではない



(別紙)

証明書番号251-009

自然共生サイトに係る支援証明書

グリーンフロント研究所 株式会社 様

特記事項

● 支援によって実現したアウトカム

～【実績概要】モニタリング計画I、Jに該当する調査の成果～

4種の希少種＜オオゴキブリ（愛知県：準絶滅危惧種）、コガムシ（環境省：情報不足）、ゴホンダイコクコガネ（岡崎市：準絶滅危惧種）、トノサマガエル（環境省：準絶滅危惧種、岡崎市：準絶滅危惧種）＞が確認され、"価値（6）"を満たしていることが確認できました。

● 今後の支援計画

2025年度以降、【フィールド調査および地域環境評価のあり方を学ぶ機会の提供としての学生参加型モニタリング調査】を年1回、夏季に実施する計画。

● 地方公共団体の計画（総合計画や生物多様性地域戦略等）における位置づけ

鳥川ホタルの里は、岡崎市の生物多様性保全の象徴的なエリアとして位置づけられています。岡崎市は「生物多様性おかざき戦略」に基づき、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させること（ネイチャーポジティブの実現）を目指しており、その手段の一つとして「自然共生サイト」の認定を推進しています。鳥川ホタルの里は、この戦略に基づく第一弾の認定サイトとして位置づけられており、市内外からの注目を集めています。

● 支援者の本業との関連（自社内のサイトでの保全技術を他者に提供できるケース、サイト保全活動を通じた顧客獲得等）

調査結果をWebGISデータとして共有できる形で集積した取組みは、今後の市民参画型活動における基礎データの共有ツールおよびスキルとして提供することが可能です。これにより、地域の環境保全活動のさらなる促進と、市民および行政の連携強化が期待されます。

※別紙に記載の内容は申請者による任意の記載であり、環境省による詳細の審査は行われていない

